

**令和 9 年度新潟県立燕中等教育学校第 4 学年研修旅行業務
委託業者選定プロポーザル仕様書**

1 研修旅行の目的

- (1) 英語圏での生活と研修施設における学習を通して、英語運用能力を高める。
- (2) 事前準備や研修中の交流を通して、自国及び他国の言語や文化について理解を深める。
- (3) 異文化体験を通して、自国とは異なる生活習慣や言葉の壁等を乗り越え、様々な人々と交流し、豊かな国際感覚を身に付ける。

2 旅行期間

令和 9 年 10 月 15 日（金）から 24 日（日）までの 9 泊 10 日

3 旅行先

オーストラリアのケアンズ、又は英語を母語とする日本人学生の受け入れを可能としている、治安がよく、安全面について心配がない都市とする。

4 参加人数（予定）

令和 9 年度 4 年生 62 名、 引率教員 3 名

5 見積限度額

生徒 1 人あたり 500,000 円

（税、事前、事後研修費用、報告書作成料、燃油サーチャージを含む）

ただし、引率教員 1 人あたりは 300,000 円程度とする。

6 業務委託の内容

- (1) 海外研修旅行の企画及び日程表の作成
- (2) 旅行中の交通手段及び宿泊先の確保
- (3) 研修、国際交流プログラム等の企画及び現地でのサポート
- (4) 国内における保護者説明会及び事前・事後研修の企画・運営
- (5) 海外旅行に係る危機管理、現地におけるトラブルへの対応・処理、相談
- (6) 事業実施に係る諸手続等
- (7) 研修旅行のしおりの作成、参加者への事前・事後の諸連絡及び実施期間中の参加者の一般的な健康管理等
- (8) 研修報告書（冊子）の作成及び校内における成果発表会への参加

7 研修内容

- (1) 語学研修プログラム又は現地校での授業の受講（4日以上）
- (2) ホームステイ（現地での全日程）
- (3) 英語を使ったコミュニケーション活動（可能な限り多く）
- (4) 現地の自然や文化、学校生活に触れる活動
- (5) 事前・事後研修
- (6) 事前の英語研修としての英語集中講座

8 宿泊

- (1) 生徒の宿泊先
 - ・ 現地での宿泊はホームステイとし、1家庭につき同性の生徒2人を原則とする。その際、性別に配慮したマッチングを行うこと。
 - ・ ホストファミリーの決定時期とトラブルがあったときの対応について提案すること。
 - ・ 日曜日はホストファミリーと過ごす形態にすること。
- (2) 引率教員の宿泊先
 - ・ 現地での宿泊先は研修の拠点となる施設内またはその近郊とすること。

9 交通手段

- (1) 日本国内の移動は、貸し切りバス又は公共交通機関を利用するものとし、出発から帰着まで生徒全員で移動するものとする。
- (2) 現地での生徒及び引率教員それぞれの移動手段を確保すること。

10 事前・事後学習について

- (1) 旅行前に、海外研修のための心構えや基礎知識を身につけるための研修を3回以上行うこと。研修の目的理解、現地の文化理解、トラブル未然防止に係る内容等
- (2) 事前研修の1つの英語集中講座として、外国人講師による少人数グループの語学研修を3日間程度行うこと。
- (3) 事後の振り返り学習を1回以上行うこと。
- (4) 研修報告書の作成をすること。報告書の仕様は写真ページ20ページ程度を含め、生徒ひとりあたり1～2ページの成果報告を記録したものとする。
- (5) 本校で実施する海外研修成果発表会に参加すること。

11 実施体制

- (1) 添乗員
 - 2人以上の添乗員が、全日程同行すること。
- (2) 現地スタッフ
 - 現地では、現地団体等が添乗員と協力して業務にあたること。
- (3) 社内体制
 - 担当責任者を明確にし、旅行中はもちろん事前及び事後も本校の要望等に答える体制を確立すること。

12 見積

- (1) 事前・事後研修及び現地研修一切にかかる費用を見積もること。(税も含む)
- (2) 費用変動(燃油等)があるものについては、その旨も明記すること。
- (3) 提示した内容以外の費用(個人的費用)についても、参考として別に計算して提出すること。
- (4) 引率教員については、生徒用とは別に見積もること。
- (5) 研修旅行不参加者に対しての代替研修メニューについても提案すること。